



ディスカバリーサービス

まとめて検索「AUL Search」導入！

AUL Searchの画面(2022.8時点)

愛知大学は多数のデータベースサイトと契約し、国内外の電子ジャーナルや電子ブックを提供しています。また、オープンアクセスと呼ばれるインターネット上に無料公開されている文献も数多く存在します。図書館を利用される方の中には、このようにインターネット上で閲覧可能な資料をご存じない方もいらっしゃるかもしれません。また、データベースを活用してどのようにして文献を見つけ出すのか、使ったことのないデータベースサイトにどのような情報資源が含まれているのか、それらを把握することは困難だといえます。

そこで、この度愛知大学が導入したディスカバリーサービスが力を発揮します。ディスカバリーサービスとは、その名の通り、あらゆる提供元から自分の探している文献をディスカバリー（発見）するためのツールです。愛知大学はEx Libris社の「Primo」というディスカバリーサービスを導入し、『まとめて検索（AUL Search）』（以下、AUL Search）と銘打って皆さんに提供を開始しました。これから、AUL Searchについてご紹介します。

Q AUL Search で文献を探してみましょう

図書館HPのOPAC検索画面に、新たに右図①「まとめて検索」というタブが追加されました。「まとめて検索」のタブに切り替えて、探している文献のキーワードを入力して検索ボタンをクリックします。実際の検索結果画面は右図②のとおりです。結果に表示されたタイトルをクリックすると右図③のとおりその文献の詳細が確認できます。さらに、注目いただきたいのが、「オンラインアクセス」や「愛知大学の所蔵を確認する」、「本文へのリンクを確認する」という文言です。この部分をクリックするとオンライン上で閲覧できる文献のページに遷移したり、愛知大学図書館の蔵書検索システム（OPAC）が立ち上がったります。また、文献の詳細画面にある「入手方法」というボタンをクリックすることで、右図④SFXの中間窓へもページ遷移することができ、他の図書館等の所蔵の確認やILLでの取り寄せ依頼にも役立たせることができます。

Q AUL Search 利用上の注意

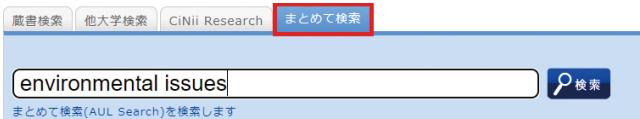
学内ネットワーク環境でのみアクセス可能な有料データベースや電子ジャーナル等も検索対象に含まれています。学外やスマートフォンからの利用の際は、SSL-VPNに接続して利用すると制限なく検索可能です。SSL-VPNに接続しない場合、制限がかかり検索結果が少なくなります。

また、AUL Searchは日本語対応していますが、海外文献に比べるとまだまだ検索範囲が狭いです。特に日本の新聞記事や一部法律系のサイトは検索結果に反映されないものが数多くあります。日本の新聞記事等を検索したい場合は、従来どおり各種専用データベースをご利用ください。

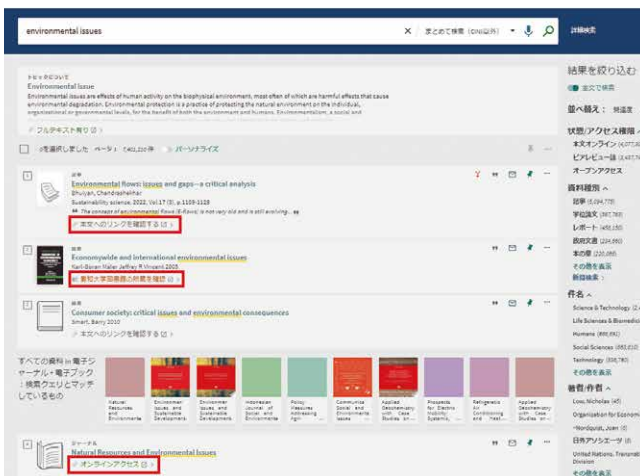
〈使い分けのイメージ〉



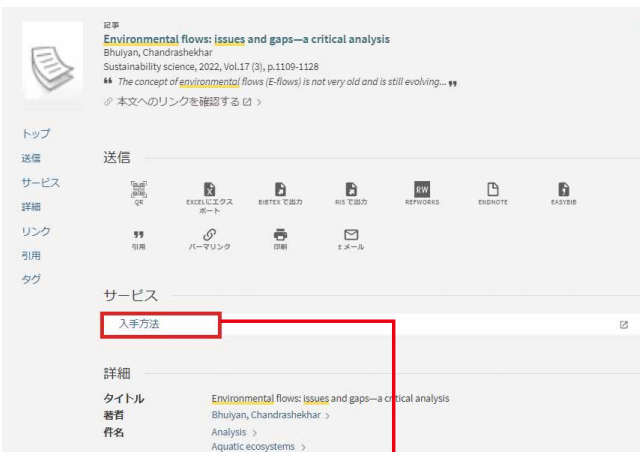
① 検索画面



② 検索結果画面



③ 文献の詳細画面



④ SFXの中間窓

